

会 議 録

■ 附属機関等の会議の名称

第2回篠山・たまみず・岡野幼稚園区における教育・保育のあり方検討会

■ 開催日時

令和元年9月12日（木） 19時00分から21時00分まで
受付時間（18時30分から19時00分まで）

■ 開催場所

丹波篠山市民センター2階催事場

■ 会議に出席した者の氏名

- (1) 委員 委員 21名（うち委員長1名、副委員長1名）
- (2) 執行機関 事務局 5名

■ 傍聴人の数

4名

■ 議題及び会議の公開・非公開の別

公開

■ 会議資料の名称

- ・第2回篠山・たまみず・岡野幼稚園区における教育・保育のあり方検討会 次第
- ・篠山・たまみず・岡野幼稚園区における教育・保育のあり方検討委員の変更
(資料1)
- ・会議録（資料2）
- ・園児数見込みの算出方法（資料3）
- ・現状・平成25年度考え・案①・案②（資料4）
- ・篠山・たまみず・岡野幼稚園の園区図（資料5）
- ・幼児のうたまつり（資料6）

■会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員の変更
- 4 確認事項
- 5 協議

(委員長) 事務局が挙げた案をどのように考えていくかということですが、現状でいくと園児数が減ってくる。全てこども園に集約するのも一つの案となっている。案①は3幼稚園でそれぞれ預かり保育をするという案だが、場所や指導員の確保等の確保を考えると非常に困難なため現実的には難しい。そして案②は、たまみず幼稚園を残し、残り公立2園は閉園し、篠山幼稚園をささやまこども園第2園舎にすることができるのではないかとこの案が今考えられる案になる。

(H委員) 預かり保育専用スペースが必要というのはどういうことか。幼稚園の教室や遊戯室を使えるのではないかと。

(事務局) 幼稚園には、確かに保育室という教室のような部屋と、園によっては遊戯室もあるが、預かり保育を幼稚園で実施する場合、保育室や遊戯室を使うことは困難である。幼稚園が終わった後、預かり保育の子どもたちに過ごしてもらおう訳だが、幼稚園は幼稚園で、例えば保育室であれば翌日の準備を行なうため、子どもたちが夕方までいるとなると、翌日の準備が出来ないということになる。遊戯室もあるが、こちらでも行事がある時期になると行事の数日前から準備に入るので、夕方まで子どもたちがいると準備が出来ないということになる。市内で預かり保育を実施しているところは、幼稚園の保育室や遊戯室を預かり保育専用のスペースとして使うことなく別の場所を確保しており、預かり保育の子ども達に過ごしてもらいながら、幼稚園の運営に影響が出ないように配慮をしながら実施してきている。

(H委員) その配慮を考えてもらうのは良いことだが、園の先生は意見はどうであるか。もしかしたら先生方は「預かり保育のためなら、こういうことが出来る」等と、別の考えを持っておられるかもしれない。

(R委員) 幼稚園の先生も状況は知っているはずである。幼稚園の施設を預かり保育として使われるのは、非常に難しい。実際に幼稚園内で預かり保育が実施されるとなると、保育をするための準備について状況が一変することになり、色々なスペース等を変えていかないといけないことになる。預かり保育を出来そうに思われるかもしれないが、幼稚園の先生達は、なかなか難しいと思われるだろうと私は認識している。特に行事前は、色々な道具を置いたりしているので、毎回移動させるとなると非常に難しい。預かり保育は幼稚園とは別に施設がある方が良い。利用者の願いを叶えていきたいという思いは十分にあるが、園長としては非常に難しいと考えている。

(I委員) それでは、他の幼稚園での預かり保育のスペースというのは、どのよう

にしているのか。資料を見ると、初期整備に少なくとも1億5千万円とあるが、3園あるので1園あたり5千万円ずつということか。そうだとするならば、他の幼稚園は全部預かり保育されているが、それにもこの程度かかっているということか。保育園の中とかではなく、全て別施設ということか。

(事務局) まず初期投資の1億5千万円というのは、仮に篠山幼稚園、たまみず幼稚園、岡野幼稚園のそれぞれに何か建物を建てる必要があるとしたら1施設あたり5千万円はかかるだろうということである。この金額は、最近、城北畑小学校の敷地内に造られた学童保育施設がそのくらいかかっているので、概算にはなるが1施設あたり5千万円かかるとしている。

ちなみに市内で行なっている他の預かり保育については、そうした増築をするのではなく、保育園の部屋を使う、西紀きた幼稚園であれば隣のしゃくなげ会館を使う、城南幼稚園であれば、隣の城南小学校を使うというように、場所をお借りする形で実施できている。

(I委員) 例えば場所を借りられるとするならば、もう少し安く行なえるということか。

(C委員) 幼稚園が終わった後、帰宅する園児と同じように家庭的な雰囲気を出そうと思うと、先ほどR委員から、準備や移動でガサガサとしている中で行なうより場所・環境を変えた方が好ましいとあったが、そういう配慮は必要かと考えている。

(H委員) 小学校に教室として使われていない部屋があれば、案の中に挙がることになるか。例えば、篠山小学校は以前に比べクラス数が減ってきているので空いてる部屋があると思うが、それを預かり保育専用の部屋とすれば使うことも可能であるか。

(委員長) 今までもあちらこちらで、預かり保育や学童保育の場所を確保してきたが、普通に考えたらそのままの場所にいたら良いのではないかと思う。しかしながら、幼稚園教育と預かり保育の場所は別の場所が好ましいというのが、学校や先生方の考えであり、学童保育においても別の建物を建てていっている。おっしゃられるように全てが全て場所を確保できないので、空いた教室等を活用できれば一つの案になるのではないかと思うが、教育委員会や学校の先生方にとってはなかなか難しいようである。

(P委員) 篠山小学校に関していえば、他の園と違って広く、1館から5館まであるが、今、教室で使っているのは5館と4館だけである。3館・2館は特別教室に使ったりしているだけなので、部屋を何とか空けてほしいということがあれば決して空けられないことはない。ただ、他の幼稚園では難しいのではないかと思う。

(G委員) 例えば、旧篠山幼稚園舎は、現在、学童保育で2部屋を使用されているが、端の部屋が物置になっていた。結構広いスペースで、少し片づけたら使えるのではないかと思ったのだがどうか。

(P委員) 何とかならないことはない。ただし、他の園のことも考えなければならない。恐らくたまみず幼稚園等であれば難しいのではないか。

(R委員) 岡野小学校については、使っていない教室を用いて学童保育を行なっ

ており、児童は学校が終わったら同じ敷地内で動くという方法になっている。

(J 委員) 城北畑小学校は教室に余裕がないので、午後からの預かり保育を小学校で実施してしまったら、小学校の授業の妨げになったりと邪魔になるのではないかと。

(I 委員) 2年前の2017年に「こんにちは市長室」で、幼稚園保護者と一緒に預かり保育を行なってほしいとお願いしたとき、既に城北畑小学校で学童保育施設を建てるという話が出ていた。私たちも要望しているのだから、同じ建物で預かり保育も実施することを検討してほしいと思った。そのときに言われたのが、トイレの規格が幼稚園の子には合わないため、幼稚園の2年間は我慢してほしいということだった。2年間誰が我慢するのか、それは母親だと思う。子どもを見るために父親が仕事を休むということはない中、「預かり保育は作れないが学童保育施設は作るから、幼稚園の2年間は我慢してほしい。」と言われたのはショックだった。城北畑小学校の学童施設はとても良い園舎で事故にも遭いにくい。あの学童保育施設で預かり保育もやってくれると思って入園したという保護者もいらっしゃる。もう少し先を見通して建設出来なかったのかとすごく残念である。こうした経緯があるのに、今になって場所がないと言われるのは少し違うと思うので、私は案①でお願いしたいと思っている。

案②になったとしても、資料では短時間保育の人数が3園あわせて4歳児16人5歳児15人となっているが、恐らくそんなにも来ないと思う。篠山幼稚園区と岡野幼稚園区の方がたまみず幼稚園に来るのかなと思う。むしろ、7、8人がたまみず幼稚園を選択するだけで、残りはそのまま私立こども園等へ行くのではないかと。

ささやまこども園と富山こども園では、0～2歳の受け入れが今後も増えてくるのではないかと。今も定員いっぱい受け入れている中、市としても困るのではないかと。

(委員長) 2年前に「こんにちは市長室」においてたまみず幼稚園で預かり保育をしてほしいと要望いただいたが、全幼稚園のそれぞれに預かり保育施設を作って指導員を配置するのは困難である。市内全体をみて検討する必要があり、他の園区でも一つの幼稚園で一つの預かり保育施設があるわけではない。他の園と一緒に預かり保育を行っている。しかも、この園区にはこども園がある。こども園で行なってもらうというこれまでの考えがあったのだから、要望を受けたからといってすぐに預かり保育施設をつくることはできない。ただ、学童保育はこれまでから受け入れているため、人数が増えて場所がないから受け入れられないということではできないので、場所をつくって今年度から使用している。学童保育は、しなければならないから行なった。預かり保育は同じ考え方ではないため、要望を受けたからといってすぐに出来るわけではないとご理解いただきたい。

(I 委員) 分かりました。ありがとうございます。ではこの先について、こども園は、申込者数が増えても大丈夫なのか。

- (委員長) 預けたいという人が増えることは間違いないが、全国的に少子化が進む中、子どもの数自体は減っていくと思われる。そうしたことを考えると、案①は、先ほどの場所や指導員の問題もあって難しいと思われる。
- (E委員) 推計ではなく、この地区のこの子はどの園に行っているというような細かな調査は出来ないのか。というのも、隠れたニーズを知る必要があるのではないか。実際は仕方なくここに行っているというような人が分かれば、預かり保育を必要としている実際の状況が分かり焦点が絞れるのではないか。
- (委員長) 把握をするのは難しいと思われる。
- (E委員) アンケート等で聞き取りを行なってニーズを把握できないものか。
- (I委員) 待機児童がいるかを調査するという事ではないか。
- (E委員) そうなる。
- (I委員) 今年度、待機児童はないのか。
- (事務局) 今年初めて、市内全体で3名待機児童が出ている。そのうち2名がこの3園区内である。
- (H委員) それは何歳の子か。
- (事務局) このエリアでの2名の待機児童は、1歳児と3歳児の子である。
- (E委員) どの園にも入れませんと言われて待機になっているということか。
- (事務局) はい。
- (E委員) 出来るだけ近く、希望するところでみてあげてほしい。
- (委員長) この地区にはこども園があり、こども園対幼稚園になっている。多紀地区や味間地区は、こども園一本である。味間地区でこども園を設立するときも、幼稚園教育が良い、潰さないでほしいという声は出た。しかし、幼稚園・保育園の先生に頑張ってください、今ではそんな声は全く出ていない。私立とはいえ富山こども園とささやまこども園がある中、各幼稚園でも預かり保育をやっていく必要性がこの少子化の時代の中であるのか。
- (T委員) 富山保育園が、なぜこども園になったのかという話になるが、予算や補助の書類提出が求められるし、正直、こども園になることで良いことは何もない。何故こども園になったかといえば、各幼稚園ではとにかく園児が少なく、集団での生活ができるのかというところに尽きてくる。各地域で慣れ親しんだ幼稚園をなくしてほしくないという気持ちは分かるが、そういうことは言っていられない時代になっている。他者との触れ合いが必要な0～5歳の時期、少人数はアットホーム、家庭的で良いと思うかもしれない。しかし、大人数がいる小学校・中学校に進学したときに、色々な人がいる中で折り合いをつけていく力が必要になるが、その力を付ける乳幼児期にこんなに少人数だと成り立たないのではないかと思い、多くの園児を受け入れられるようにこども園となった。もちろん保護者の方のご意見は尊重しなければならないが、こうした私自身の考えから言えば、幼稚園3園とこども園2園があり、さらに各幼稚園に預かり保育施設ができるというよりは、むしろどこかに集約すべきである。

- (S 委員) ささやまこども園も平成 26 年度からこども園になったが、2 号（長時間保育）の園児が多くて 1 号（短時間保育）の園児は少ない。1 号（短時間保育）の園児の保護者は、8 時半から 13 時半までで、就労されている方もいらっしゃるが影響のない範囲でお勤めされて迎えに来られている。そこを考えると、公立幼稚園にこだわっておられる理由は何なのか気になる。資料の中での令和 4 年の想定では 4・5 歳児 63 名と今より減っているし、案②のように篠山幼稚園の園舎をささやまこども園舎に転用するとなれば、4・5 歳児の受け入れが出来るということになる。
- (委員長) この問題は、保護者が子どもにより多くの人数のところで保育・教育を受けさせたいということと、もう一つは意見が違うところかもしれないが、幼稚園教育を受けさせたいという方とこども園教育で十分だという方がいて、そこが大きな違いだと思っている。なぜ、私立こども園ではいけないのか。篠山幼稚園の卒園式に出席した際、保護者から「こども園に行っているときは、子どもが今一つ生き生きしていなくて行きたがらなかったが、幼稚園では喜んで行っており、大変きめ細やかに子どもをみてもらえた。」と、幼稚園教育を評価する声をいただいた。こども園における幼稚園教育というものが、公立幼稚園でおこなわれる幼稚園教育と引けを取らないものかどうかということに尽きると思う。こども園が単に保育園の延長なのか、それとも幼稚園教育に負けないようにやっているかと皆が思えるのかどうかということではないか。
- (C 委員) 私も幼保一体化を進めているとき、保育園の 4・5 歳児枠をなくして幼稚園で預かり保育を実施してきた。そのときに考えていたメリットの 1 つとして、幼稚園になるのだからちゃんと就学前教育ができるということを考えていたが、保育園の先生から叱られることもあった。つまり、教育委員会がそういったことも含めてちゃんと安心できるような姿を見せていくことが大事だと思う。私立こども園では長時間保育に加えて短時間保育も実施しないといけないので、幼稚園教育と変わらないことになっている。民間の頑張っておられる 2 園の幼稚園教育が果たしてどうなのかということだが、それは今、教育委員会等で同じ研修をされたりして遜色ない印象である。
- (A 委員) 幼稚園で預かり保育をやるよりも、こども園でいこうというのは国の動きでもあった。そして、時期は未定だが本市では最終的には 0～5 歳児のこども園という施設を整備していこうというように動き始めたのが平成 25 年だった。国の出した方向にはできるだけ沿わなければならない。しかしながら、そのときはまだ私立の園は保育園であり、こども園にはなっていなかった。そこで、幼稚園児を対象に預かり保育を過渡的に順次実施していくこととなったが、子どもたちが幼稚園で過ごした後、場所を変えて家庭的な環境を作りなさいというのが国の方針で、そういう環境をつくるのが行政の役割だった。文科省は、預かり保育に関して、幼稚園教育要領の中にそのことを示している。そしていずれ、本市が打ち出した幼児教育に関しては、最終的にこども園に集約していこうということになる。徐々にではあるが、公に味間こども園、たき

こども園を立ち上げた。そしてこの地区の話になるが、ここにはいち早く私立こども園があって、そこの子どもたちの教育についてはしっかりやると言っていた。そして、この地区におけるこども園のあり方を私たちは今まで考えてきた。

また、運営面についてだが、私立は私立で研修会をされているが、公で行なう研修会にも、私立こども園に全部案内を出して参加いただいたりしている。0～5歳までのときにはアレルギーの問題などの健康面から子どもの育ちまで、私立こども園でも計画的に研修をして職員の資質向上に努めておられる。職員資質において「私」と「公」の違いがあってはいけない。

(委員長) 私立こども園で公立幼稚園に負けないような教育はできているのかという不安を皆さん持っておられるのではないか。

(A委員) 市内の4・5歳児が一堂に集まるイベントとして、幼児のうたまつりがある。そういったときに、私たちは子どもの姿をみている。

公立園だけでなく私立こども園も訪問し、今後はもっと交流を深めたい。

(O委員) 2案示してもらい、メリット・デメリットが記載してあって分かりやすい。あり方検討会という形で進めていくのであれば、せっかくここまで作ってもらったものがあるのであれば、こども園が良いのかどうかといった個人的な価値観の話ではなく、せっかくならば、場所や職員の数などの資料をもとに議論をしてはどうか。

それと、お聞きしたいのだが、資料に案①と案②とあるが、25年度の考え方(私立こども園2園に集約)は案③にはならないのか。私はこれが良いと思う。デメリットはどの案にもあり、言い出すときりがない。市民が100人いたら100人満足することは無理である。今回は、行政が決めるのが私は一番いいと思う。細かい部分よりも大まかな流れをみるのであれば、私は25年度の案が良いと思う。案③にしても良いか。

(事務局) 良いと思う。

(I委員) それでは、案④をお願いしたいのだが、案②の公立幼稚園1園を残して他を私立こども園に集約するという案だが、残す公立幼稚園1園で預かり保育を実施してもらえないか。案①でいうと令和4年度の園児数想定が篠山・たまみず・岡野幼稚園ともに44名、43名、23名と少ない人数がいるので、人数が確保されて集団教育ができるとは思いますが、案①は難しいようなので、たまみず幼稚園に預かり保育をつけてもらえたらと思う。他の幼稚園に全部預かり保育があるのに、この園区だけ我慢比べをさせられているようで、案②のたまみず幼稚園だけ預かり保育がないというのはどうなのかなという気がする。

これまでの話を聞いていると、保育の質において、幼稚園の保護者がこども園のことを悪く思っているように聞こえたが、どちらかということと機会の均等というか、幼稚園があるなら市内統一して他と同じように預かり保育はあるようにしてほしいということである。国の施策にもあったように場所を変えて預かり保育があったら良いのではないかと思う。

市長は産科のこと等、前向きに考えておられると思うので、市は少子化を望んでいる訳ではなく、せめて維持を望んでいると思っている。

(委員長) それでは4案目として、たまみず幼稚園に預かり保育をつくるということ。

少しでも良い保育・教育を受けさせたいという思いがあって、幼稚園で預かり保育を実施してほしいという議論かと思っていたが違うか。園長先生にお聞きしたいが、私立こども園と公立幼稚園を卒園した子どもたちで、小学校に何かしらの影響があるのか。

(H委員) 案②について確認だが、たまみず幼稚園は現状維持のような感じになるのか。篠山幼稚園と岡野幼稚園を閉園して、ささやまこども園と富山こども園になるということで良かったか。

(J委員) 篠山幼稚園と岡野幼稚園に行っている子どもは、一つの幼稚園に集まるということではないか。

(H委員) ささやまこども園になるということか。

(I委員) たまみず幼稚園に来ることになる。

(J委員) 今は幼稚園名にこだわられることはないと思うが、3つの幼稚園に分散している子どもが1つの幼稚園に集まって過ごすということ。

(H委員) 篠山幼稚園をささやまこども園第2園舎に転用となっているが、それは可能なのか。それを行なうとメリットとしては、ささやまこども園と篠山小学校との連携が深まるとあるが、それは可能なのか。

(P委員) ささやまこども園の4・5歳児を篠山小学校内にしたいということだが、もともと篠山小学校に進学する子ばかりなので連携はできる。

ただ、案②のたまみず幼稚園で預かり保育を実施する場合、保護者が幼稚園で幼児教育を受けさせたいという気持ちになったときに全員たまみず幼稚園に行く可能性もある。たまみず幼稚園には2保育室と遊戯室しかないのに、そこに全員が集まることは不可能ではないのか。

(事務局) 園児数の見込みを出しているが、それを見ると1号(短時間保育)の午前中の部分については、篠山・岡野幼稚園の子どもたちがたまみず幼稚園に集まったとしても、今のたまみず幼稚園の部屋の数で足りる。しかしながら、たまみず幼稚園で更に預かり保育を実施するとなった場合は、かなりの子どもが私立こども園から流れる可能性があるため、今のたまみず幼稚園の部屋では全員を受け入れることは無理な状況である。資料にも記載しているが、保育室2部屋は確実に足りなくなると思っている。

(H委員) 先ほど言われていた案③は、富山こども園とささやまこども園に集約するということが、そうなったときにささやまこども園の園舎で全てまかなえるのか。

(O委員) まかなえないのであれば、国の施策に沿う中でお金を持っていき、まかなえるようにすればよいのではないか。園舎を増築するにしても、国の方針であれば国も市も予算がつけられるからお金には困らない。国や県等からの補助がないところを突き進んで、市だけの行政負担となれば、それが跳ね返ってくるのは市民なので、それは避けたい。これ以上税金

が上がらないようにということも考えていったら、行政が一番したいところは平成 25 年度の案ではないか。

市名変更に関しては、住民投票にまでなったが、個人的にはその結果には従う。今回のことは投票するまでのことでもなく、行政が一定の方向性を示して、市民はそれについていったら良いと思っている。全員が思いを話し始めると決まらない。

(委員長) 要するに、こども園の教育と幼稚園の教育がどれだけ違うのかという点だと思っている。こども園の教育がものすごく良かったら、わざわざ預かり保育をしてほしいと言わず、皆喜んでこども園に行くだろう。この場の皆さんでどこかの園を見に行こうということにしたいと思う。このまま言い合いを行なっても進まない。

(○委員) 通っているのは子どもであり、別に親がどうかではない。

(委員長) 一度、現場を見て話をした方が良い。

(○委員) 私は、子どもの送り迎えで見ている。

(委員長) こども園と幼稚園、それぞれの現場を見た方が良い。

(○委員) これからこども園に一本化していくのであれば、今更違いを見つけていく必要はないのではないか。

(委員長) 違いを見つけていこうというのではなく、違いがあるのかないのかを見に行く。

(○委員) そういうのを全部拾い上げていったら決まらない。

(○委員) 差があるのではないかという不安な部分について、子ども達や先生方の様子を見てもらうことで安心してもらえれば良いのではないか。差があれば、それはそれで問題として考えていけば良い。

(R委員) 富山こども園等の先生方とお話ししたときには、よく理解できたし、本当に支援が必要な子にどのような配慮がしてあるかもわかった。適切にされていると思っている。

こども園が良いか幼稚園が良いかだけでなく、地域の城北畑小学校には、入学する前に同じ地域の子と一緒に学ぶ・保育する場があってから進学させたい、地域にある幼稚園を大事にしたいという意味も含めた意見があったと思う。城北畑校区は岡野校区とはちょっと違うと私は感じた。もともと城北小学校と畑小学校がある中、幼稚園が先にくっついて、それから小学校が統合した地域なので、やはり城北畑については他とは違う何か私たちが分からないところで大変なところがあるのかもしれない。

篠山幼稚園の保護者の方も、伝統ある篠山幼稚園で保育を受けた良さがあって、篠山幼稚園を大事にしたいという思いも含めて、その中でどういう方法が3園区の中で良いのかということをお話したら良い。

私は西紀みなみ幼稚園で園長をしていたので、市長が仰ることはよくわかる。あちらにはこども園がなく、むしろこちらの方がこども園が2つもある。西紀小学校区の子どもと西紀南小学校区の子と一緒に西紀みなみ幼稚園で学んでいる。こども園がないので当然違う施設の預かり保育へ行くが、それしか方法がない。ここでは根本的に状況が違う中で保

育をしてもらっているというのは皆さんよく分かってもらっていると思うが、その中で伝統ある幼稚園3園の教育について一定の評価をしていただける、園のことを大切に思ってくれているのかなと思う。

また、バラバラのところから来て一緒になるとときには、校区としての思いとか、小学校とのつながりのこととかがあるかもしれない。私のところだと、富山こども園と岡野幼稚園の2つなので、園長としても把握はそんなに難しいことはないが、色々なところから来た中で仲間づくりしていくと、もしかしたら課題があるかもしれない。

(E委員) 実際、私のいる校区では子どもにまとまりがない。まとまりが悪く、特に若い世代がバラバラである。特に城北地区は、一致団結というようなことがやりにくいというのが、今の実感。4・5歳は3つに割かれたような状態であり、スムーズな繋がりというのが希薄になっているのが現実である。私自身も何とかしてまとめたとは思っているが、学校だけでもまとまれば、もう一つ大きな地域という中でもまとまりが出てくるのではないか。地域のエゴと言われるかもしれないが、城北に昔、保育園(無認可の玉水保育園)があったけれども、近隣もあわせて3つも園は不要だろうということで城北は遠慮してなくなったわけだが、結果、こういうことになり残念である。

(O委員) せっかく案が出ているので、今いるメンバーで誰がどれを良いと思っているのか、どういった比率になっているのか、そこから考えてみても良いのかもしれない。

(委員長) 誰がどの案が良いと言ったから、その案に決めるということは出来ない。

(O委員) 決めるということではなく、例えば案①が良いという人が多いとなって各幼稚園に預かり保育施設を置きたいということになれば、徹底的にメリット・デメリットを考えなければならない。そうしなければ、検討会の時間が無駄になってしまう。

(委員長) それでは、保護者の方のみで順番に案の感想等を言っていたきたい。

(N委員) 私としては、現状維持で良いと思う。公立に行きたい人は行けば良いし、私立に行きたい人は私立に行けば良いのではないのか。預かり保育をつくってまで働きたいなら、こども園に行けばいいじゃないかと私は思う。

(M委員) これから少子化が進むかもしれないし、そうすると預かり保育施設をつくったのに使わなくなってしまう可能性もある。そういったことを考えると私立一本でいく方が、大人数の中で楽しく過ごせるという環境をつくってやれるのではないかと思う。

(L委員) それぞれの幼稚園に預かり保育をつくる案が良いと思う。岡野幼稚園は、年長になったら希望者だけが小学生と一緒に登園できる。小学校の運動会にも幼稚園園児が参加して一緒に競技できるし、すごく小学校との連携が出来ていると思うので、スムーズに小学校へ入学できる環境が整っている。預かり保育ができれば選択肢が増えて良いと思うので、案①が良いと思う。

(K委員) この中では案①が良いと思う。小学校との連携を考えると幼稚園は残す方が良くと思う。

(J委員) 理想は案①だが、色々な面から難しいというのもよく分かるし、時代の流れや国の方針とかでこども園にしていくということであって、市がこども園にしていくとおっしゃるのであれば、私はそれを受け入れざるを得ないのかなと思う。

2年前に引っ越してきたとき、こども園の教育の質がどうかということとは全く思っておらず、ささやまこども園に1号認定(短時間保育)で入れたかった。しかし、もう春だったのでいっぱい入園できず、たまみず幼稚園に入園させた。こども園に集約して幼稚園を閉園するという話になるとは全く思っていなかったので、少し驚いている。市としてこども園にされるというのであれば仕方がないかなと思うので、親としてはそれで良いと思う。私の理想としては案①でお願いできるならばしたいが、無理そうだとおっしゃっているので、市として「市はこうしたいです」ということをもう少しはっきり言ってくれれば嬉しい。

(委員長) I委員は案④(案②+たまみず幼稚園で預かり保育実施)で良かったか。

(I委員) 案①にできるのであれば、案①が良い。自分の子どもをこども園に預けたことがないので私立がどうか思わなかったが、市長が子育て一番を掲げ、プティプリや病児保育ができてどんどん環境が良くなる中、どうして私たちの園区だけはしてくれなかったのかなというのを子育てしながらずっと思っていたところがあった。また、自分たちが通わせていた幼稚園にも良いところがたくさんあるのにも思っている。案①で預かり保育をつくってくればある程度の数を受け入れることができると夢を見せていただいたので、できるのであれば案①が一番理想である。

(H委員) 案①に賛成である。ただ、こんなにデメリットがあるならば、例えば園舎を別につくると高額な金額がかかるので篠山小学校に一室が空いていたならそこを専用に使わせてもらったり、他の岡野・たまみず幼稚園だったら公民館とかお金がかからないようにして行なえたら良いなどと思う。先ほどT委員が仰った子どもを大人数でみた方が良い等は、全く同じことを私も思っているので、幼稚園に人数が増えてもらったら嬉しい。

兵庫医大の産科の件の話し合いにおいても子育て支援をという話が少し出てきており、預かり保育が各幼稚園ではなくても、例えば3園の子どもが移動してきてどこかに1か所とかにすれば人件費も抑えられるので、色々策を出して案①を進めていただきたいと思います。

(G委員) H委員とほぼ同じような形で案①に賛成。篠山幼稚園には借りられるスペースがあるので、岡野・たまみず幼稚園にそういったスペースがあるのであれば、例えば預かり保育の時間は篠山幼稚園に行くという方法も検討してみてはどうかと思う。

(委員長) 案①は現実には難しい案である。場所も人もお金もということになる

ので市全体のことを考えると難しい。案②は、話が進まないのでも事務局側が出している案である。

(J 委員) 3園とも残して、預かり保育施設をどこか1つに集めることはできるのか。

(A 委員) 先ほど申し上げたように、市全体はこども園で今後幼児教育をやっていくという流れである。そこで市内全体でそっちの方向に進んでいる。預かり保育をしているのは過渡期の途中の話である。案②の中にも公立を残しているが、それも最終的には国や市の方向を考えていくとこども園で子どもたちをみていくということになる。他の地域においても進めているし、直近で言えばたきこども園ができています。

(委員長) 親の就労形態に関わらず、0～5歳までの子どもが就学前に一体的に保育・教育を受けられる、これがこども園の考え方であり、それを進めたい。できるところからということで、味間と多紀のこども園ができた。では他の地区でもという話になるが、こども園となると一体的な施設整備が必要になる。味間で7億円、多紀でも相応の費用がかかっているのでも、今の市の財政からすると全市的に施設整備をすることはできないので、今、A委員が言うような過渡期の状態になっている。

(A 委員) 国の方は、私立にはたくさん補助金を出す。そういう制度になっている。公がやる分にはあまり出ないので、税の使い方の配分として本当にそれで良いのかを考え、納税者の方から何か言われたときに、私たちはどう答えていくのか考えなければならない。

(F 委員) こども園の方向性は県下では進んでいるのか。

(R 委員) 神戸市は地域事情があつてこども園化が進んでいないが、淡路ではこども園化が進んでいる。隣の丹波市は全て私立のこども園になっている。

(H 委員) 少し離れた伊丹市では、幼稚園に預かり保育施設を、と今一生懸命にされている。

(A 委員) 伊丹市の教育長とも話をしたことがあるが、尼崎もしている。こども園の整備のために本市へ視察に来られたりしている。また、三田市と話をしたときには、なぜ篠山が預かりを全て月曜から金曜までしたのか、という話になった。例えば他の自治体では、何曜日だけ等、日を限定した運営になっていたりする。

(H 委員) こども園が、ということか。

(A 委員) 預かり保育施設で、ということ。本市では、児童クラブも毎日実施し、預かり保育も子育ての観点から、他の自治体のように週に何回と限定せず、毎日行なっている。どこの市町村でも、色々工面しながら預かり保育を行なっているというのが実態である。

何度も繰り返すが、私たちが目指す方向は、こども園という方向・施策である。ただ、それが一気に理解が得られるかは難しいし、財政上の問題もある。公立がやるとなると国からの補助金あまり来ない。私立がやる時には国からの補助金がある。

(H 委員) すべてをこども園に集約する場合、篠山幼稚園の園舎を使うのではなく、ささやまこども園が国からの補助でささやまこども園の場所に園舎

を増築されるということか。

- (A委員) ささやまこども園からは、今よりも広くしてもらうにあたって公の施設を使っていただくことは可能であると、この案をつくる際にいただいた。
- (O委員) 篠山幼稚園の園舎を民間委託に出すということか。
- (A委員) そういうことになる。
- (E委員) ささやまこども園は、今、朝8時から9時の間、車の量がすごい。
- (S委員) 保護者の送迎でそうになってしまう。
- (E委員) もし分散できるならば、した方がいい。
- (委員長) それでは、一度こども園の様子を見に行きたいと思うがいかがか。
- (D委員) こども園は0~5歳児だが、見に行くのはこども園の4・5歳児ということでは良かったか。
- (委員長) 幼稚園の4・5歳と、こども園の4・5歳ということになる。
- (D委員) 運動会のような行事等でもない、行って見ても分からないのではないか。
- (C委員) 確かに1回見ただけでは分からないかもしれないが、こども園には0~5歳児までがおり、子どもたちは下の子を大事にしないといけない等、生活の中で学んでいくことになる。そういう姿は行ったら、何となくでも見えてくるのではないかと思う。
- (I委員) 小学校の子どもたちを見て育つわけだから、幼稚園児にはその点で同じことが言えると思う。
- (P委員) 篠山小学校のところを利用するとあるが、篠山幼稚園をささやまこども園第2園舎にして4・5歳児が入り、今のささやまこども園に0~3歳児が入るとなると、その間に交わりはつくれるのか。移動するには結構距離があり、車の量も多い。
- (A委員) 味間こども園も新園舎になるまでは、そのような状況であった。
- (委員長) 今の篠山幼稚園の場所がお城の近くであり、活用したいと思うのがあると思う。おっしゃることは確かにそうだと思う。
- (F委員) こども園化の方向は、進んでいるのか足踏みしているのか。私には足踏みしていると思うのだが、県下的に全国的にどうなのか。その言葉だけが踊っているのではないだろうか。
- (R委員) 私は2年間幼稚園長会の会長をしていたが、淡路市はほぼこども園である。幼稚園の組織を組んだり一緒に研究したりするのが難しいくらいであった。神戸市は幼稚園が多くある。それは、なかなかこども園ができていく色々な地域上の問題があるように聞いている。やはり丹波篠山市や丹波市とは神戸市は事情が少し違うようだ。
- (F委員) たまみず幼稚園を残す案②でも良いと思ったので、少し進捗状況や今の実情がどうなっているのか気になった。
- (委員長) それでは、次回は視察とさせていただき、もう分かっているという方は欠席してもらったら良い。
- (O委員) この検討会を進めていって、最終的に何か一つ答えを出したいということではいいか。

- (委員長) 出したいから検討会をやっている。
- (O委員) 5年前は、結果が出なかった。
- (委員長) 5年前は、このような検討会は行なわなかったし、なかなか意見の違いがあったので、現状維持で今に至った。この検討会を中心に皆さんだけではなく、地域の皆さんや保護者の方の意見をまとめていただいて、最終的に意見をまとめたいと思って開催している。
- (O委員) 最終的にどのようなになるにしても、過渡期が2・3年と必要になるのであれば、過渡期をどのようにしていったら良いのかを詰めていき、最終的に例えば5年経ったら全てこども園になると決めてしまった方が話を進めやすいのではないか。
- (委員長) 味間でも、公立の幼稚園を作ってほしいという声はもう出てこない。公立のこども園と私立のこども園とで何か違うのかということだと思う。結局、信頼が大切ということである。
- (O委員) 私立にはお金が出て公立にはお金が出ないということが大きいと思う。何をするにも結局お金がかかる。親としては、子どもたちが遊ぶ遊具等の備品にちゃんとお金を落としてほしい。
- (委員長) お金をちゃんとしたところに使えということか。
- (O委員) 使えということではなく、使うにはどうしたら良いかということだ。市全体として財政はだんだん良くなってきている。市名も変わったし人数で見ても、令和4年で見ると3園区にたった135人しかいないし、それをものすごく大きさに考える必要はないと思う。
- (G委員) 視察の件について、保護者も視察に全員で行くということか。
- (委員長) はい。他の友達等連れてきていただいても結構である。
- (G委員) 保護者は、自分の子どもがこども園なり公立幼稚園に通うにあたって、ある程度下調べをして分かっているので、保護者は別に視察は良いかなと思う。
- (H委員) でも、こども園の保護者の方は幼稚園を見に来ていないかもしれない。
- (O委員) 行っている。
- (F委員) 視察をする中で情報交換したりできるので、それはそれで意味があるのではないか。この検討会で見ることが大事なのではないかと思う。
- (委員長) それでは日程を言ってもらいたい。
- (事務局) 9月25日(水)か9月30日(月)のどちらかで調整いただきたい。9時頃からの午前中を予定している。集合場所は追って連絡する。私立2園と公立幼稚園1園をまわりたいと考えている。
- (I委員) 9月25日はたまみず幼稚園の運動会の予行である。
- (委員長) それでは、9月30日の午前9時で行ないたい。
- (事務局) 次第の「その他」に入るが、(2)で第41回幼児のうたまつりを記載している。私立こども園、公立幼稚園4・5歳児ということで今まで話が出ていたが、まさにこの幼児のうたまつりは公立・私立の全4・5歳児が田園交響ホールに集まってプロの楽団の音楽を聴いたり、歌ったりという取り組みを毎年している。雰囲気を知っていただくという意味では、一度この日の取り組みを見ていただいても良いと思う。10月16日(水)

午前 10 時～開演するので、可能な方があれば、10 時前くらいに田園交響ホールに来ていただきたい。終了時間は 11：15 となっている。

(委員長) それでは今回の検討会を終了したい。

(C 委員) 今回、前回に続き、第 2 回目ということで、教育委員会でたたき台をつくってもらい、その中から全てが選択できるというわけではないということをお分かっていただいて、これからもっと議論していかなければなかなか進まないというところもあるが、丁寧に皆さんから一つ一つ知恵を出していただきたい。希望と要望を含めながら行政は行政で正しいあり方を考えながら、まとめていくことになると思うので皆さんのご協力をお願いしたい。今日はありがとうございました。

6 その他

10 月 16 日（水）午前 10 時～ 幼児のうたまつり

7 次回の開催日

令和元年 9 月 30 日視察予定

8 閉会